

## 東北ハイテク研究会セミナー

# 大規模水田作複合経営の可能性を開く 土地利用型野菜の革新的生産技術



### セミナー開催の狙い

全国各地で雇用型の大規模水田作経営が誕生しています。生産の中心は水稲、大豆、麦などの土地利用型作物ですが、雇用労働の有効活用とさらなる所得の確保のためには、収益性が高い野菜の導入が不可欠です。特に大規模水田作経営が広大な農地を有効に活用するためには、低コスト・高効率で労働力を有効に利用できて確実な所得確保が実現できる土地利用型野菜の導入が期待されています。

こうした中で大きな注目を集めているのが、需要が旺盛で比較的安定的な取引が期待できるキャベツ、ネギ、タマネギ、ブロッコリーなどの土地利用型野菜です。キャベツについては収穫の機械化が、タマネギについても直播、セット球栽培などの新たな革新的技術が、ブロッコリーに関して多様な作型と機械化技術が開発されるとともに、今日ではスマート農業技術の活用も注目されています。

今回のセミナーでは、東北地域で急激に増加している大規模水田作経営の収益性と労働利用効率を高め、その持続的な経営展開の新たな複合部門として期待できる土地利用型野菜の革新的な栽培技術について紹介します。

なお、今回のセミナーは、新型コロナウイルスの収束が見えない中でのセミナー開催となりますがより多くの方技術等を紹介することを目指してOnline 配信で実施することとしました。

多くの皆様方の積極的なご参加をお待ちしております。



写真1 タマネギのセット球  
(東北農業研究センター2018年の成果情報より)



写真2 キャベツの機械収穫  
(東北農業研究センター山本氏講演資料より)



写真3 (株) 鈴生のブロッコリー畑  
(出所：鈴生のHP より)

## 開催日等

日時：令和3年12月20日(月) 13:30~15:40  
開催場所：オンライン開催 (Zoom(ウェビナー)によるライブ配信)  
参加費：無料  
主催：農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室  
東北地域農林水産・食品ハイテク研究会  
協力：東北農業のイノベーション技術創造研究開発プラットフォーム

## <セミナープログラム>

主催者挨拶	東北地域農林水産・食品ハイテク研究会 事務局長 門間 敏幸	13:30~13:35
第1報告	タマネギの周年生産体系確立のための技術革新の内容 農研機構 東北農業研究センター 主任研究員 木下 貴文 氏	13:40~14:10
第2報告	水田転換畑におけるキャベツの機械化一貫体系 農研機構 東北農業研究センター 主任研究員 山本 岳彦 氏	14:10~14:40
第3報告	スマート農業技術を活かしたブロッコリーの機械化一貫体系 一株式会社 鈴生(すすなり)の取り組みー 株式会社 鈴生 代表取締役社長 鈴木 貴博 氏	14:40~15:10
質疑討論：		15:10~15:40

司会進行：東北地域農林水産・食品ハイテク研究会  
農林水産省産学連携支援コーディネーター 齋藤 雅典

## セミナー参加の申込方法等

- 当日までに、下記の申込フォーム（URL）からお申し込みください。

URL：[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_ZD4K31jRICmVGye9TWJUQ](https://zoom.us/webinar/register/WN_ZD4K31jRICmVGye9TWJUQ)

- ※ お申し込みの方への登録完了メールは、申込フォームにご記入の「名」宛てで返信されます。  
これは、Zoom ウェビナーの設定上のことですのでご理解願います。

### 問い合わせ先

東北地域農林水産・食品ハイテク研究会 事務局（藤井）

〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4 東北農業研究センター内

TEL：080-2806-9926

E-mail：tohoku-hightech@@kej.biglobe.ne.jp（ご使用時は、@を1ヶ削除願います。）

- 本セミナーは、農林水産省が実施する「知」の集積による産学連携支援事業により行われるものです。